

平成30年7月23日(月) 12974号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
大阪市北区天満2丁目12番3号
ヴィレッジリバー南森町 3階E号
TEL (06) 6353-7831 (代表)
FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
東京都品川区北品川1丁目9番7号
トップルーム品川1015
TEL (03) 6869-9983 (代表)
E-Mail info@nikkankinzoku.co.jp
WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ 12ヵ月 84,000円(税別)
6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

スクラップ消費量

5月非鉄金属等需給動態統計

銅・銅合金・鉛がプラス

経済産業省資源エネルギー庁が発表した2018年5月の非鉄金属等需給動態統計によると、スクラップの国内消費量は銅・銅合金・鉛がプラスとなった。

銅スクラップは4万6,050トンで、前年同月比3.4%増加。主要用途の伸銅品は3.6%増の3万4,173トン、電線は3.4%増の9,454トンで、堅調に推移した。

銅合金スクラップは8万1,649トンで、0.5%のプラス。伸銅品向けが4.6%増の4万1,261トン、一方、精錬は2.4%減の3万7,060トンだった。

鉛スクラップは1万5,236トンで、5.6%のプラス。主要用途の精錬が1.8%、再生が18.7%それぞれ増加し、底堅い消費動向が続いた。

非鉄金属等需給動態統計調査

18年5月スクラップ国内消費量

区分	消費量(トン)	前年同月比(%)
銅	46,050	3.4
電線	9,454	3.4
伸銅品	34,173	3.6
銅合金	81,649	0.5
伸銅品	41,261	4.6
製錬	37,060	▲2.4
鉛	15,236	5.6
再生	3,063	18.7
製錬	11,525	1.8
亜鉛	2,945	▲4.4
錫	62	▲28.6
ニッケル・ニッケル合金	67,528	20.2

▲はマイナス

亜鉛スクラップは2,945トンで、4.4%のマイナス。その他は18.2%増加した一方、無機薬品、その他めっき、製錬がいずれも前年実績を下回った。

錫スクラップは62トンで、前年同月比28.6%のマイナス。このほか、ニッケル・ニッケル合金のスクラップは特殊鋼向けが大幅に伸びたことで、プラス20.2%の6万7,528トンだった。

社会の発展とその未来に
テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしい KYOWA のエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

<http://www.kyowadensen.co.jp/>



協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO., LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番

TEL (0729) 91-0818 (代) FAX (0729) 91-4470

本社・関連企業

18年夏季休業日程が決定

三井金属

三井金属鉱業(西田計治社長)は、同社本体と関連企業の2018年夏季休業日程を決定した。

三井金属と八戸製錬、神岡鉱業は、8月11日(土)

から15日(水)まで、彦島製錬は8月11日(土)から16日(木)までとする。

電気亜鉛建値については、8月16日(木)以降に発表予定。休業期間中の亜鉛建値に関する問い合わせは、三井金属サイト<https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>を参照して欲しいとしている。

東洋アルミ

インド市場強化

現地包装材料大手に出資

東洋アルミ（山本博社長）は、インドの加工会社「Svam・パッケージング・インダストリーズ」の株式33.4%を取得すると発表した。今後、大きな伸びが期待されるインド市場の強化を図る。

東洋アルミは、今回の株式取得の目的について、◇自社加工品ビジネスの収益拡大◇加工品ビジネスのグローバル化推進・グローバルビジネスを推進できる人材の育成◇自社開発技術・製品の販売をグローバルに拡大する生産拠点としての活用――の3点を挙げた。

Svamは1998年に設立され、医薬品用包装材料のシェアで同国トップ。株式譲渡は2018年7月中に行われる予定で、東洋アルミは8月より、ガバナンス改善や技術者の派遣、工場管理等の支援、マーケティングサポート、顧客対応等を順次開始していく予定。

新 断
新ドライ

高価買取します。

(株)エイワ産業

〒577-0536 東大阪市洪川町 2-2-2

☎ 06-7891-8180

FAX 06-7891-8170

3級溶解技術者

18年度認定試験要綱を発表

日本アルミニウム合金協会

（一社）日本アルミニウム合金協会は、2018年度の3級溶解技術者認定試験の要綱をこのほど発表した。全国4か所の会場で19年2月に実施する。

アルミ合金技術の進歩に即応可能な技術者の養成と技術の向上に向け、通信教育と講習を踏まえて試験を行う。合格者には、同協会より合格証とバッジが与えられる。

受験資格は、アルミ合金地金・二次地金の製造に従事し、事業主の推薦を受け、3か月の通信教育と講習科目を受講した人。

講習科目は、「アルミ二次合金概論」、「アルミ合金学」、「原料予備処理法」、「溶解炉及び耐火物」、「溶解・合金法」、「フラックス処理法」、「環境対策」の7科目。

受験料は、会員企業が1人2万円、会員外企業が1人3万5,000円。料金には受験料とテキスト代、昼食代を含んでいる。申込先は日本アルミニウム合金協会（東京都台東区浅草橋1-24-3杉木立ビル4階）。締め切りは9月28日（金）。

講習会と試験の開催場所は、東京・名古屋・大阪・福岡の4か所。通信教育は、1回目が10月下旬、2回目が11月下旬、3回目が12月下旬で、講習会と試験の開催日は、◇東京：19年2月3日（日）◇名古屋：2月10日（日）◇大阪：2月17日（日）◇福岡：2月24日（日）。

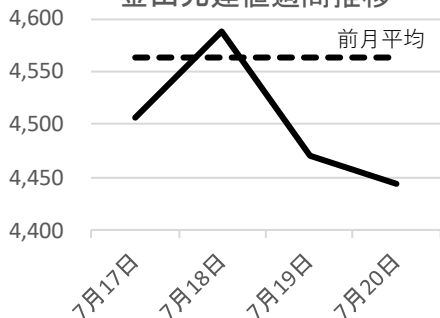
試験は、実技（事業主採点）が700点満点、学科が300点満点。実技の採点は、事業主の認定により、420点以下は推薦せず、各事業主の採点平均は500点以下とする。合格ラインは、実技試験で6割以上、学科試験で7割以上としている。



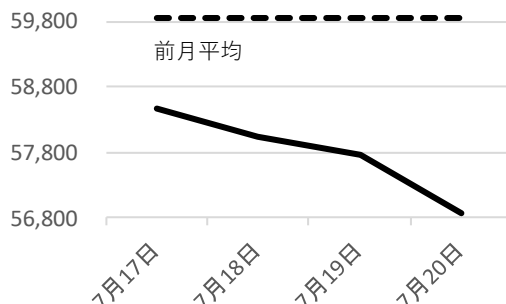
金銀山元建値週間推移

7月17日～7月20日

金山元建値週間推移



銀山元建値週間推移





亜鉛建値1万2,000円引き上げ34万円 7月の月内建値平均は34万4,900円

三井金属鉱業は20日、電気亜鉛建値を1万2,000円引き上げ34万円とすると発表し、同日から実施した。

2018年7月の月内建値平均は34万4,900円。

20日入電のLME亜鉛相場セツルメントは2,563.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは113.61円、この値で換算した採算価格は29万1,100万円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万8,900円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(単位キログラム当たり円、カッコ内は改定日)。

2018年

□1月 427(4) 424(11) 436(16) 430(23)
平均430.0

□2月 442(1) 436(7) 418(13) 430(16)
平均431.6
□3月 421(1) 397(6) 388(9) 397(14) 391(19)
382(26)
平均394.4
□4月 397(2) 391(10) 376(13) 400(19)
平均393.0
□5月 400(1) 382(7) 385(10) 391(18) 376(28)
平均384.5
□6月 385(1) 403(6) 406(13) 391(19) 355(26)
平均389.0
□7月 370(2) 352(5) 340(11) 328(17) 340(20)
平均344.9

鉱害政策アドバイザーを派遣 ペルーエネルギー鉱山省と 協力合意書締結

JOGMEC

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC、細野哲弘理事長)は、ペルーエネルギー鉱山省との間で鉱害政策アドバイザーの派遣で鉱害防止分野における協力にかかる合意書をこのほど締結した。

合意書の締結により、鉱害政策アドバイザーの派遣期間が2020年3月まで延長される。JOGMECは今後、ペルーエネルギー鉱山省上層部への政策的助言のほか、鉱害防止セミナーの開催、現地研修や日本への受け入れ研修等の実施等の取り組みを通じて、同国が推進する鉱害防止対策に協力する考え。

日・ペルー間では、2008年3月に当時のガルシア大統領来日時に両国首脳による共同声明で、日本がペルーの鉱害防止対策に協力していく方針を表明。これを受け、JOGMECが同年12月にエネルギー鉱山省との間で「鉱害政策アドバイザー派遣に係る協定書」を締結し、09年4月から専門家を同省に派遣し、同国の鉱害防止政策や鉱害防止技術への支援を行っている。

2016年11月には、日・ペルー両国政府間で「鉱業分野に関する覚書」が締結。覚書には、鉱害防止政策が協力事項1つに盛り込まれた。

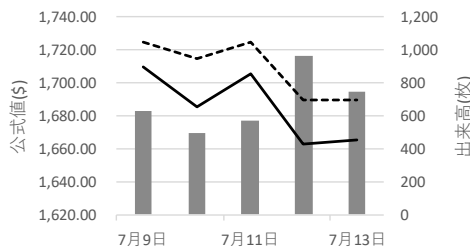
日刊金属

購読料 12ヵ月 72,000円(税別)
6ヵ月 36,000円(税別)

外電配送料 12ヵ月 84,000円(税別)
6ヵ月 42,000円(税別)

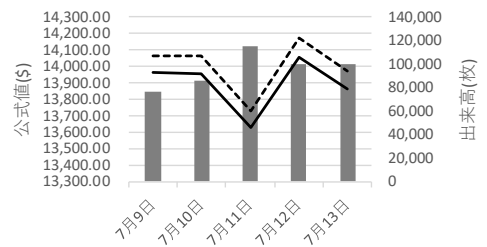
LME公式値週間推移 7月9日～7月13日(現地)

LME北米特殊アルミ合金



■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LMEニッケル



■ 出来高 — 直物 - - - 先物



銅建値は1万円引き下げ72万円

7月の月内建値平均は73万8,000円

JX金属は20日、電気銅建値を1万円引き下げ72万円とすると発表し、同日から実施した。2018年7月の月内建値平均は73万8,000円。

20日入電のLME銅相場セツルメントが5,982.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは113.61円。この値で換算した採算価格は67万9,600円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万0,400円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2018年

□1月	850(4)	840(10)	830(15)	820(22)	800(24)	810(29)	平均825.7
□2月	810(1)	820(6)	790(8)	800(15)			平均801.5
□3月	780(1)	760(9)	780(14)	770(19)	750(23)	740(28)	平均765.7
□4月	760(2)	770(6)	790(11)	770(13)	790(19)	800(25)	平均778.5
□5月	800(1)	790(7)	800(14)	810(23)	790(29)		平均797.8
□6月	780(1)	810(5)	840(7)	810(19)	790(22)	780(27)	平均810.0
□7月	780(2)	750(5)	730(12)	720(20)			平均738.0



黄銅削粉6円引き 下げ531円に

関西の黄銅棒大手N社と三菱伸銅は5日、黄銅削粉の買値を6円引き下げ531円とすると発表した。

故銅市況

20日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前日の6,068.00ドルより86.00ドル安の5,982.00ドル。昨年7月20日(現地)に5,930.00ドルを付けて以来、1年ぶりに6,000ドルを割り込んだ。この日の直物後場買値は、前日の6,088.00ドルより60.50ドル安の6,027.50ドル。カーブ取引は前日の6,150.00ドル～6,151.00ドルより85.50ドル～86.00ドル安の6,064.50ドル～6,065.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(7月限)は、前日の275.20セントより6.60セント安の268.60セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(8月限)は、前日の4万8,380元より260元高の4万8,640元。

20日の東京為替市場TTSレートは、前日の113.76円より0.15円の円高ドル安の1ドル＝113.61円。NYカーブLME先物比は1.00ドル。20日に入電したLME銅相場のセツルメントは5,982.00ドル。この値と20日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の73万円より1万1,000円安の71万9,000円。この日、電気銅建値は72万円に引き下げられた。

為替動向

20日午前の東京外国為替市場で、円相場は反発した。午前9時の気配値は、1ドル＝112.36円～112.39円、前日の17時時点に比べて0.60円の円高・ドル安。

19日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.35円の円高・ドル安、1ドル＝112.43円～112.53円で取引を終了した。

米トランプ大統領が、米メディアのインタビューで米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げ方針を批判した。直前にはFRBのパウエル議長が米議会上下両院で証言し、緩やかな利上げが最善であるとの認識を示していた。歴代大統領はFRBの独立性を尊重してきただけに、トランプ大統領の発言はFRBの動きを縛るのではないかとの懸念から、円買い・ドル

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が587～592、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは568～573、並銅は507～512、込銅(高品位＝約97%)は467、セバは456～461。コーベルは要り用筋で447、それ以外は439ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋442、それ以外425～450どころの値頃。並青銅鋳物削粉は440～445どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が590～595、上銅新くずが557～577、普通上銅が524～534、2号銅線が530～540、並銅が495～496、込銅(90-93%)が454～421、下銅が308～358、セバが423～433、コーベルが379～419、黄銅棒地が435～440、黄銅削粉が383～430、黄銅ラジが334～342、交叉ラジが320～331、黄銅鋳物が358～365、送りが200～215、上青銅鋳物が450～466、並青銅鋳物が442～455、上青銅鋳物削粉が447～466、並青銅鋳物削粉が440～444どころ。

売りが進行、円相場は一時この日の高値となる112.05円を付けた。ニューヨーク市場のドル円レートの安値は、113.18円だった。

週末を控えた20日の東京外国為替市場は、FRBの金融政策を批判した米トランプ大統領の発言をめぐりニューヨーク市場の円買い・ドル売りの流れを受け、円は上昇。一方、ホワイトハウスが「トランプ大統領はFRBの独立性を尊重している」とコメント、火消しに動きたことで、円は112.30円台に上昇した後は上値の重い展開となった。



LME銅は続落 現物は8営業日の続落
カーブ取引も続落 COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場は反発
LME非鉄相場はほぼ全面安 アルミは反発
アルミのLME在庫は9営業日の積増でおよそ9%増

20日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,067.75ドルより86.25ドル安の5,981.50ドル。3か月物も、前日の6,096.00ドルより90.50ドル安の6,005.50ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の25万7,000トンより約1,000トン減のおよそ25万6,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（7月限）は、前日の275.20セントより6.60セント安の268.60セント。カーブ取引は、前日の6,150.00ドル～6,151.00ドルより85.50ドル～86.00ドル安の6,064.50ドル～6,065.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（8月限）は、前日の4万8,380元より260元高の4万8,640元。

米中の貿易摩擦は更に激化すると懸念がある。需要動向の減衰を見込んだ第4四半期の貿易見通しを背景に投機筋の売りが加速、1年ぶりの安値を付けた。

錫は反落

LME錫相場の直物は、前日の1万9,537.50ドルより135.00ドル安の1万9,402.50ドル。3か月物も、前日の1万9,422.50ドルより110.00ドル安の1万9,312.50ドル。

鉛は続落

LME鉛相場の直物は、前日の2,117.00ドルより24.75ドル安の2,092.25ドル。3か月物も、前日の2,137.00ドルより29.50ドル安の2,107.50ドル。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(7月後半)

2S=200円～208円、63S=197円～201円、アルミホイール(1P)=192円～197円、ビス付サッシ=146円～150円、エンジンコロ=152円～154円、込合金(機械铸件)=148円～150円、缶プレス(ソフト)=115円～130円。

関西地区(7月後半)

2S=195円～203円、63S=193円～197円、52S=205円～209円、印刷版=198円～203円、アルミホイール(1P)=181円～186円、ベースメタル=205円～210円、機械铸件=152円～157円、ダライ粉=127円～129円、ビス付サッシ=147円～152円、缶プレス=133円～138円。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
 亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
 電話 06-6471-2531～5
 FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
 電話 03-3618-2351～2

亜鉛は反落

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,582.50ドルより20.00ドル安の2,562.50ドル。3か月物も、前日の2,557.25ドルより47.50ドル安の2,509.75ドル。

アルミは反発 アルミ合金は下落 北米特殊アルミ合金は続落

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,039.00ドルより22.00ドル高の2,061.00ドル。3か月物も、前日の2,024.00ドルより0.50ドル高の2,024.50ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,775.00ドルより45.00ドル安の1,730.00ドル。3か月物も、前日の1,780.00ドルより29.00ドル安の1,751.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,667.50ドルより7.00ドル安の1,660.50ドル。3か月物も、前日の1,700.00ドルより5.00ドル安の1,695.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ119万9,000トンより約5,000トン増のおよそ120万4,000トン。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の直物は、前日の13,312.50ドルより95.00ドル安の13,217.50ドル。3か月物も、前日の13,442.50ドルより160.00ドル安の13,282.50ドル。

LME公式値(単位:ドル) / 7月19日(現地)

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	5,981.50	19,402.50	2,092.25	2,562.50	2,061.00	1,730.00	1,660.50	13,217.50
	前営業日比	▲ 86.25	▲ 135.00	▲ 24.75	▲ 20.00	22.00	▲ 45.00	▲ 7.00	▲ 95.00
先物	公式値	6,005.50	19,312.50	2,107.50	2,509.75	2,024.50	1,751.00	1,695.00	13,282.50
	前営業日比	▲ 90.50	▲ 110.00	▲ 29.50	▲ 47.50	0.50	▲ 29.00	▲ 5.00	▲ 160.00

非鉄金属製品相場

(7月20日¹¹頃へ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品			鉛亜鉛製品		
	大阪	東京		大阪	東京
銅小板2.0ミリ	◆ 940	◆ 970	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	◆ 950	◆ 980	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	◆ 1110	◆ 1170	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	◆ 1130	◆ 1150	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	◆ 810	◆ 830	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	◆ 920	◆ 960	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	◆ 930	◆ 950	アルミ箔0.007ミリ	945	1005
銅線0.9ミリ	◆ 1000	◆ 1030	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	◆ 920	◆ 970	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	◆ 1200	◆ 1190	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	◆ 800	◆ 820	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	◆ 820	◆ 820	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	◆ 970	◆ 1020	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	◆ 1350	◆ 1290	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	◆ 1345	◆ 1345	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	◆ 670	◆ 670	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	◆ 710	◆ 700			
四角棒	◆ 740	◆ 730	貴金屬(一般小口向け)		
鍛造用	◆ 720	◆ 710	白金(グラム)	◆ 3267	
ネーバル	◆ 810	◆ 810	パラジウム(グラム)	◆ 3515	
高力	◆ 810	◆ 810	金(グラム)	◆ 4829	
黄銅線6ミリ	◆ 995	◆ 1025	銀(キログラム)	◆ 62850	
黄銅平角線ロール仕上	◆ 1200	◆ 1240			
黄銅条1.5×100	◆ 785	◆ 815	レアメタル輸入価格	5月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1980	1960	金屬ケイ素(99.99%未満)	256	
〃 パネ用0.3ミリ	2200	2170	モリブデン酸化物	2193	
リン青銅棒25ミリ	2240	2250	タンタル	35353	
リン青銅線3ミリ	2420	2400	マグネシウム	260	
洋白板一般用1.0ミリ	2860	2810	コバルト	9650	
〃 パネ用1.0ミリ	3030	2990	インジウム	34604	
減 摩 合 金	7月17日改定		銅 合 金 地 金	7月17日発表	
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)	大阪	東京
1種		2710	BC 1種	825	—
2種		2635	2種	995	—
3種		2565	3種	1040	—
4種		2265	6種	885	—
5種		2190	7種	920	—
7種		915	YBSC 3種	740	—
8種		825	LBC 3種	1005	—
9種		745	PBC 2種	1060	—

非鉄金属材料相場

		山元建値		電気銅	720(20)	金	4443(20)			
		()		実施日	電気鉛	307(17)	銀	56,860(20)		
					電気亜鉛	340(20)	錫(99.99%)	3,600(10)		
キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(7月20日調べ)		インジウム大口(99.99%)		42,000 ～ 46,000(1)		
非鉄原料		大 阪		東 京		地 金		大 阪	東 京	
(炉前材)		仲間相場		仲間相場				仲間相場	仲間相場	
1トン以上外税持込						高値		安値	高値	安値
1 号 銅 線	◆642	◆639	電 気 銅	◆689	◆684	◆691	◆686			
2 号 銅 線	◆582		電 気 亜 鉛	◎322	◎317	◎322	◎317			
上 銅 (新 切)	◆614	◆613	蒸 留 亜 鉛	◎313	◎308	◎313	◎308			
雑 ナ ゲ ッ ト	◆552	◆554	ダイカスト亜鉛2種	◎252	◎246	◎252	◎246			
並 銅	◆563	◆561	再 生 亜 鉛 (98 %)	◎222	◎217	◎222	◎217			
下 銅	◆536	◆532	電 気 鉛	287	282	287	282			
銅 削 粉	◆539	◆536	再 生 鉛 1 号	267	260	267	260			
銅 さ い (30 %)	25	25	再 生 鉛 3 号	271	256	271	256			
新 切 黄 銅 セ バ	◆464	◆480	錫 1 号	2350	2300	2350	2300			
コ ー ベ ル	◆440	◆450	ア ン チ モ ン	1080	1030	1080	1030			
黄 銅 棒 地	◆442	◆447	ニッケル(メッキ用)	1750	1700	1750	1700			
黄 銅 削 粉	◆436	◆443	コ バ ル ト	10700	10400	10700	10400			
並 黄 銅	◆428	421	セ レ ニ ウ ム	4900	4700	4900	4700			
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	◆325	320	ビ ス マ ス	1400	1300	1400	1300			
交 叉 ラ ジ エ タ ー	◆369	349	カ ド ミ ウ ム	500	450	500	450			
黄 銅 鑄 物	◆430		水 銀	1800	1700	1800	1700			
山 送 り	235		アルミ地金 99.70 %	◆266	◆262	◆268	◆264			
上 青 銅 鑄 物	◆503		アルミ二次地金 99 %	217	212	217	212			
並 青 銅 鑄 物	◆489	◆490	〃 90 %	209	204	209	204			
上 青 銅 鑄 物 削 粉	◆494	◆484	アルミ二次合金ADC12	319	314	322	317			
並 青 銅 鑄 物 削 粉	◆481	◆474	鑄 物 用 C2BS	344	339	346	341			
新切リン青銅(伸銅)		◆636	青銅合金地金 3 種	◆985	◆975	◆1020	◆1010			
〃 (鑄 物)	◆619		〃 6種	◆855	◆845	◆865	◆855			
リ ン 青 銅 削 粉	◆520	◆508	ハ ン ダ 錫 60 %	1880	1840	1905	1875			
新切洋白(電子材)	◆540	◆524	〃 50 %	1665	1615	1690	1660			
新 切 亜 鉛	◎160	◎160	〃 40 %	1510	1450	1470	1440			
ダイカストくず	◎140	◎140	減 摩 合 金 2 種	2620	2590	2625	2595			
亜 鉛 ド ロ ス	◎140	◎120	〃 4 種	2250	2225	2255	2225			
上 鉛	117	115	〃 7 種	885	835	885	835			
電池巢鉛ケース込	45	42	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		◆70	70			
活 字 鉛	112	109		〃 ダライ粉		◆55	55			
新 切 ア ル ミ 1 級	◆166	◆169		13クローム 新切		18	18			
新 切 サ ッ シ 1 級	◆167	◆170		ハイス 9種		130	130			
新 切 合 金 1 級	◆157	◆160		〃 ダライ粉		—	—			
機 械 鑄 物 1 級	◆120	◆120								
ピ ス 付 サ ッ シ P	◆106	◆109								
合 金 削 粉 P	◆97	◆97								
込 ガ ラ P	◆87	◆89								
カ ン ・ バ ラ	◆80	◆84								